

地域コミュニケーションマガジン

季刊

12

# まちびと

December 2010 / Winter 冬号

特集

## 町田の年末年始

俳優 早乙女太一さん インタビュー

町田ウォーキング探検隊!!

「木曽一里塚から小野路一里塚への歴史散歩」

まちグルメ「まちだの珈琲」



Machida Free Magazine

無料

ご自由にお持ちください



# 国際交流の

世界は  
ひとつ!

まちだ × アクティブ!



下段：鈴木教授、前会長の住吉まゆ子さん 上段左から：塩川絵理奈さん、伊藤絵理奈さん、佐藤航さん、現会長の高田美里さん、佐藤航さん、赤嶺政幸さん

## 出会いって、触れあって、何かが生まる。

桜美林大学 国際ツーリズム研究会

町田市には広大なキャンパスを持つ大学がいくつもあるが、学生たちは授業を受けたりサークル活動を行うために多方面から町田を訪れるだけで、地域と学生との関わりは希薄なように思える。しかし実際は、地域と連携している大学が多い。桜美林大学の学生サークル「国際ツーリズム研究会」も、その活動の一部を地域と協働で行つている。

国際ツーリズムの分野が専門である鈴木勝教授のもと、2年前に立ち上がったこの

サークルは、将来、観光産業において、特に国際関連の仕事を希望する学生

や海外旅行に興味を持つ学生たちで日々賑わっている。

海外の情報を集め研究を行いながら、時折

鈴木教授の海外視察に同行したり大使館を訪れたりするなど、キャンパスを離れ海外関係者と交流する本来の活動と同時に、地域の観光振興や活性化についてもテーマのひとつとして掲げているのである。そして

今年、観光活性化のために外国人の方がもつと町田に来てくれるような、いい企画がないものかという町田市観光コンベンション協会からの依頼に対し、チームメンバーが発案したのが、外国人が主に経営する飲食店のガイドブックを作ること。日本語版と英語版、それぞれのエスニックグルメの冊子として無事発行された。チームメンバーが町田の中心市街地を奔走し、自ら取材にあたりでき上がったその冊子は、店を探すことから始まり慣れないと感じるが、またもちろん、日本在住の外国人と取



この冊子は市内の書店等で販売されている(105円)(P.29参照)

材で触れあったことで、彼ら自身が得たものも大きかったようだ。彼らはいずれも「人と人が直接出会い、触れあって、何かが生まれる」ことを基本に考え、明確な将来の目標を持っている。バーチャル時代の中、希薄になりつつあるその意識をしっかりと持つていてるのである。メンバーの伊藤さんは将来、ウェディングプランナーを目指している。国際ビジネスとは直接関わりのない職業のように思えるが、「海外の人たちと交流することで刺激を受けたり、文化を学ぶことが、そのための勉強」なのだという。

最近の「若い層の海外に対する考え方の二極化」を憂う鈴木教授の目に映る、そんな彼らの行動には、自らが担う国際ビジネスの将来に対する明るい兆しが見えているに違いない。



ジェネシスプログラム(21世紀東アジア青少年国際交流計画)で中国から日本を訪問した団体に対し、自分たちで考えたツアーで都内観光を行いました

問い合わせ

桜美林大学 教授 鈴木勝

☎ 042-797-6552 URL <http://its2010.edo-jidai.com/>